

# 平成 29 年度 教員免許状更新講習 シラバス

講習 番号	1	講習名	【選択】英語音声についての理論と実践				
担当講師	開催地	時間数	主な受講対象者	受講人数	講習形式	試験方法	
上斗 晶代	広島 キャンパス	6 時間	小学校教諭、及び中学校・ 高等学校英語科教諭	30 人	講義・ 討議	筆記	
開催日	8 月 10 日 (木)		予備日	8 月 17 日 (木)			
【到達目標】							
英語音声学の基礎的知識と英語音声教育への応用について理解を深め、実践の基盤を育む。							
【講習の概要】							
<p>本講座は、英語コミュニケーション活動の基盤となり、重要な位置を占める音声について、その基礎理論を学び、英語音声教育への応用を図ることを目的とする。児童・生徒の発音向上を目指した具体的な指導法の考察に向けて、次の項目を中心とした講義と実習を行う。1) 英語の音声体系についての概説、2) 日本人学習者と英語母語話者の英語音声の特徴とその比較、3) 日英語対照音声学と音声音響分析の応用による発音指導・矯正の実践、4) 英語音声指導についての討議。</p>							
【講習の内容】							
<b>講義 1：英語の母音・子音の発音と指導</b>							
<p>英語と日本語は音韻体系が異なるため、日本人学習者にとって英語を発音することは困難を伴う。英語音声の習得を困難にしている要因を探り、どのようなことに気をつければより分かり易い発音を習得できるのか、そして児童・生徒の発音向上に向けてどのような指導が可能かについて考える。日英語の母音・子音の相違点・共通点をあげながら、両言語の音声の特徴を提示する。</p>							
<b>講義 2：英語のリズムの発音と指導</b>							
<p>円滑な英語コミュニケーションを行う上で、リズム、アクセント、イントネーションは重要な役割を果たすが、本講義はそのうちのリズムに焦点をあて、基礎的な事柄を概観するとともに、小、中、高校で使用されている教材を基に各レベルに応じた指導法を考える。また、英語の強弱リズムに伴って生じる音変化についても講じる。</p>							
<b>講座 3：英語のアクセント・イントネーションの発音と指導</b>							
<p>英語の発話においてどこを強調するか、どのような音調を使用するかは、話者の意図を聞き手に正確に伝えるために重要な事項である。学習初期段階の小学校英語活動から中、高と段階が進むに従って、アクセント・イントネーション指導をどのように展開していけばよいか考察する。</p> <p>講義 1, 2, 3 を通じて、日本人学習者の発音の特徴と指導上注意すべき点を挙げるとともに、学習者の実際の発音を提示し、その指導のあり方について討議する。講義中に行う発音の実践を通じて、英語を発音することを楽しみたい。</p>							
<b>講座 4：英語音声指導についてのグループディスカッション</b>							
<p>英語コミュニケーション教育と小学校英語教育が加速化する中で、英語音声教育への必要性、重要性が高まってきている。しかし、音声指導のための明確な指針はないのが現状である。小・中・高校それぞれの学習段階において、英語音声の学習目標としてどのような内容を設定すべきか、目標を達成するためにどのような指導が必要かなどについて、校種を超えてグループ討議を行う。また、音声指導上困難な点、あるいは効果があった指導法などについて意見交換を行う。</p>							
【備考】							
試験の際、講義資料とノートを持ち込みを認めます。							